

平成29年度 防火・防災講演会の開催

【開催日】 平成29年11月6日（月） 13:30～14:30

【開催場所】 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 大講堂

【講師】 根本 清美 氏（ひたちかな・東海広域事務組合消防本部予防課）

【演題】 「最近の火災予防と電気火災について」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所の大講堂において、11月6日、ひたちかな・東海広域事務組合消防本部予防課の根本清美氏を講師に迎え、「最近の火災予防と電気火災について」と題する防火・防災講演会が開催されました。

講演会は253名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の7事業所からも17名が参加されました。

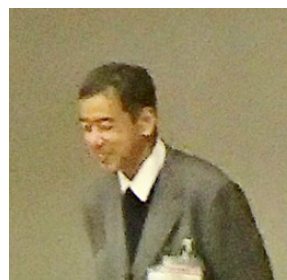
講演では、「最近の火災事例と対策」、「予防行政」及び「電気火災」について紹介されました。

最近の火災事例と対策では、冒頭で火災は恐ろしいと強調され、糸魚川大火及びアスクル倉庫火災が紹介されました。出火原因では放火が一番多く、見られているということを意識させる視線が放火防止に役立つこと、また出火した際には大きな声で周囲に知らせることが有効であると紹介されました。

予防行政では、違法な状態が継続する場合には、法的に訴えるとともに、各消防本部のホームページで違反を公表することに力を入れていることが紹介されました。

電気火災については、電気容量を超えた配線を行わないこと、トラッキング火災防止のためコンセントは定期的に掃除すること、積層乾電池は端子にテープを貼り絶縁措置をした後廃棄することなどの注意点が、実験を行いながら紹介されました。

最後に、火災は恐ろしいものであり、その恐ろしさを忘れてしまうと油断が生まれ、大丈夫であろうという思いが火災に発展し、最悪の場合には尊い命が失われると締めくくられました。



講演会会場の様子